

剪定作業上の留意点

1. 頂芽優勢
2. 樹冠ライン（樹形・骨格）
3. 不要枝（忌み枝）の剪定
4. 枝の分岐点で切る

剪定の目的

- * 庭木の役割： 目隠し、風除け、
日よけ、防火
- * 景観 (樹形のバランス)
- * 大きさのコントロール (樹形のサイズ維持)

樹形

- * 紡錘形
- * 円錐形
- * 円柱形
- * 扇形
- * 玉散らし
- * 玉つくり
- * 株立ち
- * 武者立ち
- * 自然形 等

株立ち

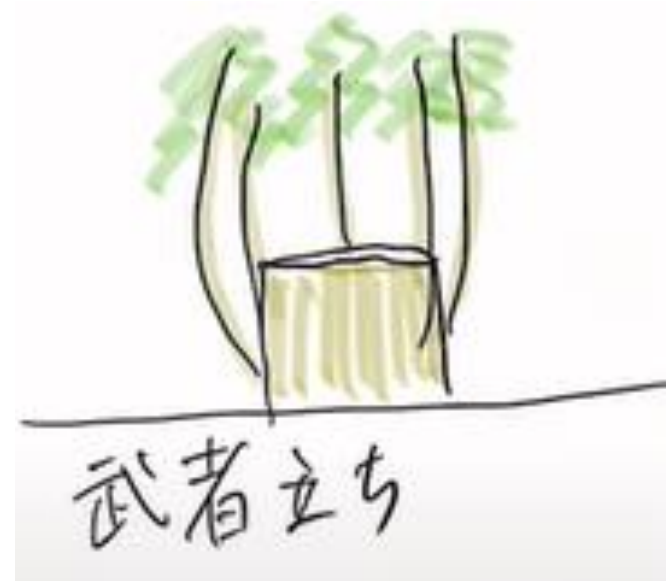


株立ち



ひこばえ剪定

武者立ち



剪定時期

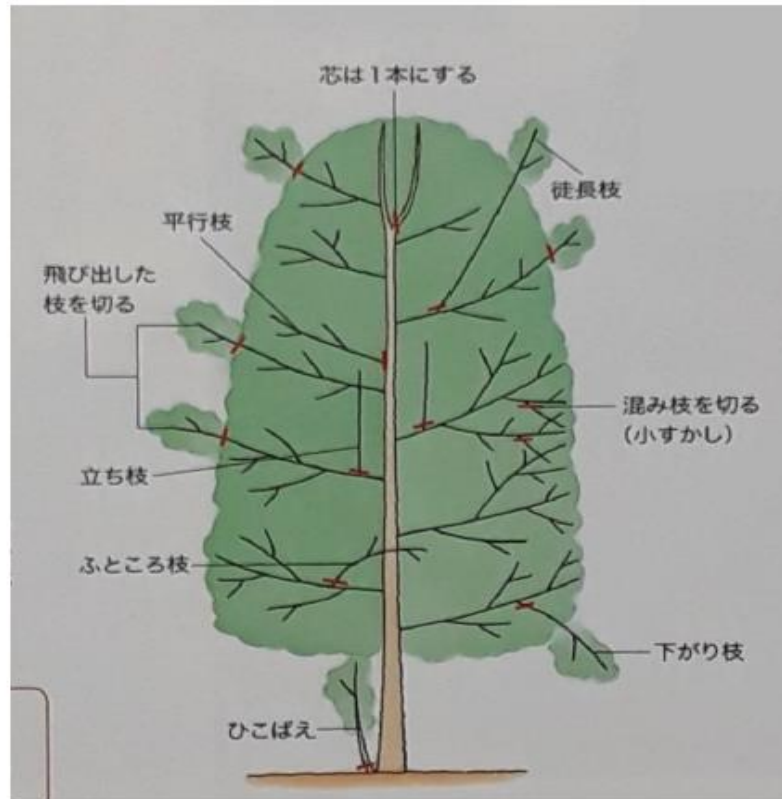
- ▶ 常緑樹 : 最適期 3～4月 (新芽展葉前)
- ▶ 落葉樹 : 最適期 11～2月 (休眠期)
- ▶ 花木 : 花芽分化期、花芽位置、開花時期の確認
- ▶ 街路樹、公園木 : 2～3年ごとに剪定

剪定方法

幹、太枝の強剪定

- ▶ 寸胴切り
- ▶ 台切り
- ▶ 太枝おろし
- ▶ 荒透かし 剪定
- ▶ 切り戻し 剪定
- ▶ 切り返し 剪定

剪定すべき枝



上から見た図



小枝の粗い剪定

- ▶ 透かし剪定
- ▶ 野透かし

木鋏による剪定

- ▶ 小透かし



1年枝（新梢）の間引き、
切り詰めの剪定

指先による剪定

ハサミの刃を嫌う

- ▶ カイズカイブキ
- ▶ ヒバ ▶ マツの緑つみ
- ▶ ウメの摘芯 ▶ モミジの摘芯
- ▶ シンパク ▶ トショウ

摘みとり

- ▶ 摘芯 ▶ 摘芽
- ▶ 摘果 ▶ 摘葉
- ▶ 摘蕾

刈り込み鋏による剪定

▶ 玉つくり



玉ちらし



▶ 垣根



刈り込み鋏の使い方



刃の曲がり



(片方の刃だけ動かす)

花芽の種類

13

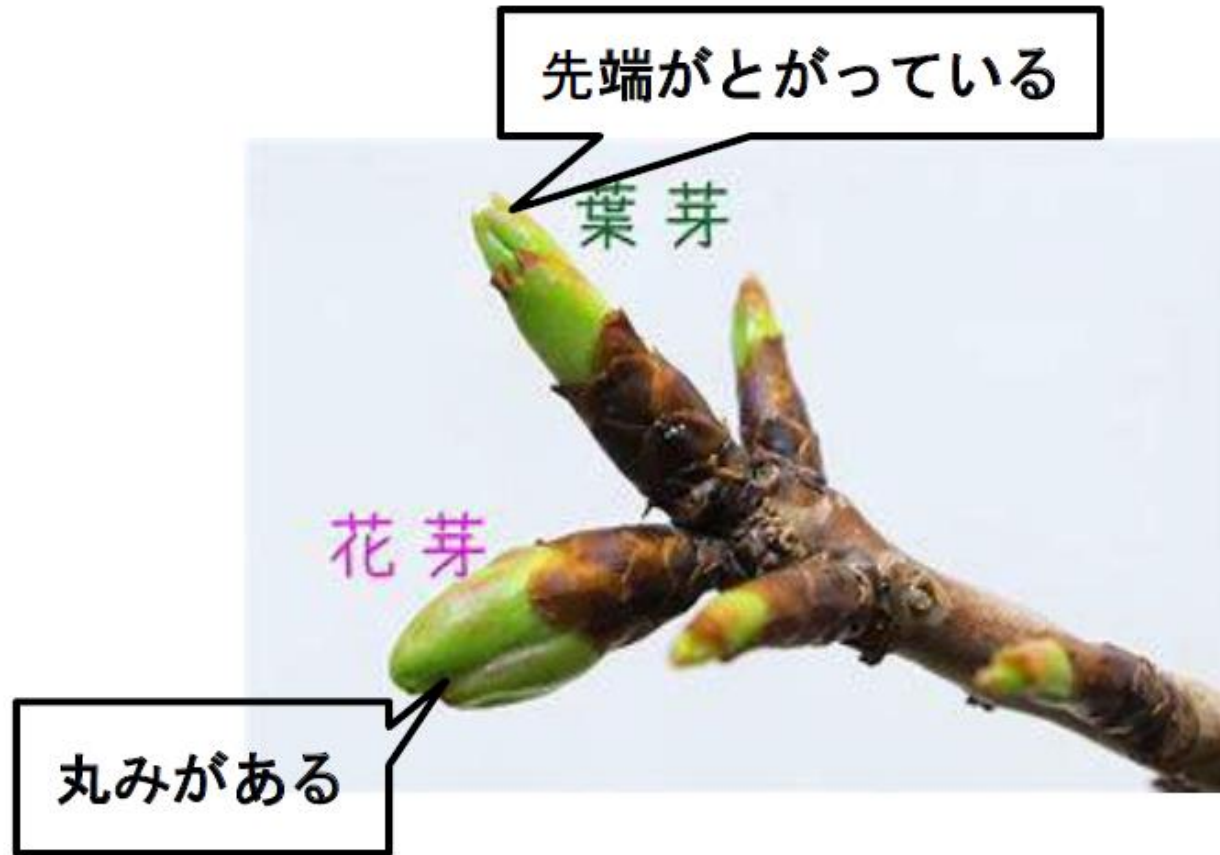
- 純正花芽：
 - ・ 花だけを有する芽（花芽）
 - ・ 葉芽に比べ大きく丸みあり

- 混合花芽：
 - ・ 一つの芽に 葉と花の両方の芽を有する

- ・ 花芽の出方
 - ▶ 前年の枝
 - ▶ 2年目の枝

花芽と葉芽の見分け方

14



花芽分化期

15

花芽分化期一覧（表—1）

樹 種	分化期（月）	開花（月）
ザクロ	4～5	6
スズラン	5～6	8
ヒナカササギ	5～6	7～8
モクレン	5～6	3
アセビ	6～7	2～3
アケビ	6～7	4
カリン	6～7	4
キンズ	6～7	9
サザンカ	6～7	11～12
サンザシ	6～7	5
ジンチョウゲ	6～7	2
ツバキ	6～7	11～4
トサミズキ	6～7	2～3
フジ	6～7	4～5
レンギョウ	6～7	3
カキ	6～8	4～5
サクラ	6～8	3～4
シャクナゲ	6～8	5～6
ツツジ	6～8	4～5
ネム	6～8	7～9

樹 種	分化期（月）	開花（月）
ウメ	7～8	1～3
オウバイ	7～8	2
カイドウ	7～8	4
カマツカ	7～8	4～5
キブシ	7～8	3～4
クチナシ	7～8	6
サツキ	7～8	5～6
ダイオウハク	7～8	4～5
シャクヤク	7～8	5
サルスベリ	7～9	7～10
ウツギ	8～9	4～5
ボケ	8～9	5～7
キンカバイ	8～9	4
キンカバイ	9～10	6～7
コデマリ	10～11	6
アジサイ	10～11	6

※ 分化期の時期毎に色分け

開花時期

16

□ 春咲き花木 ➡ 2年枝に開花

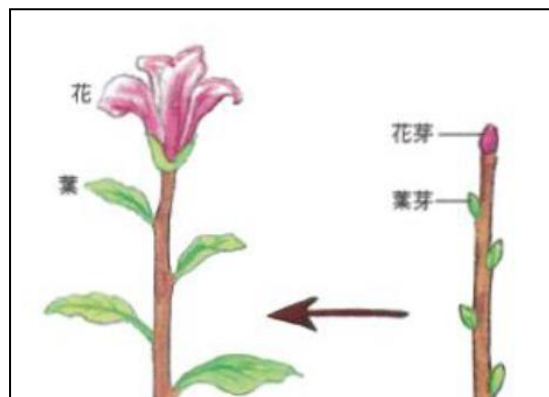
- ・サツキ ・ツツジ ・モクレン ・ウメ
- ・サクラ ・モモ ・マンサク ・ツバキ
- ・トサミズキ

□ 夏咲き花木 ➡ 1年枝に開花

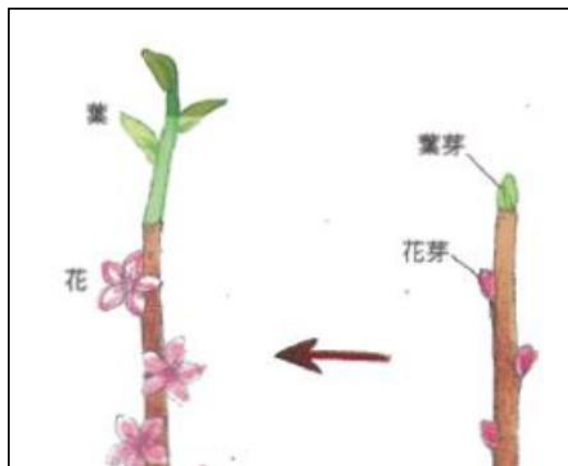
- ・サルスベリ ・ムクゲ ・ネム ・ハギ
- ・キョウチクトウ ・キンポウジュ ・モクセイ
- ・キンシバイ

花芽の付く位置

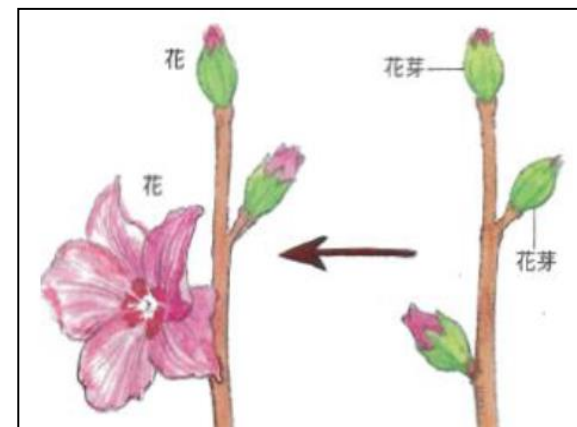
17



① 頂芽 ➡ 花芽



② 側芽 ➡ 花芽



③ 頂芽と側芽 ➡ 花芽

剪定時期

▶ 春咲き花木

- 花後～1.5ヶ月以内
(花芽分化前)
- 11～3月
(花芽と葉芽の識別が可能)

▶ 夏咲き花木

- 11～2月
(この時期は花芽なし)

ツバキの剪定



▶ 剪定時期：

- A • 花後 直後～1.5月以内
- B • 花芽が確認できる秋以降 樹冠から飛び出た枝を切る

切り方

- A • 萌芽力は旺盛、 一般的な刈り込み
- B • 樹冠ライン周辺は大胆な切り戻し、透かし剪定（間引く）
- C • 花芽の確認後、剪定 （頂芽タイプなので枝先に注意）

ウメの剪定



▶ 剪定時期:

花もの

- 花後 直後～1.5月以内
- 5月以降 徒長枝を切る

実もの

- 4月下旬～5月中旬に実付枝を残し、
実のない枝は 2芽残して切る
- 11月～1月の剪定が良い

▶ 切り方

- A 短い枝を残し、徒長枝はすべて切る
- B 冬は透かし剪定 (間引く)
- C 側芽タイプなので枝先を多少切っても
花芽は残る

トサミズキの剪定

▶ 剪定時期：

- 花後 4月～5月中旬
- 花芽確認の後 11月～2月



▶ 切り方

- A 花後、そのまま枝は残す
- B 株立ちのひこばえを根本から切る (間引く)
- C 古枝は1/3 切り戻す

サルスベリの剪定



▶ 剪定時期

- 11月～2月 休眠期に切る
- 初夏 切り戻し剪定 (新芽を元から切る)

▶ 切り方

- A 休眠期
- B 3～4年後、「ゲンコツ」部分を切り落とす
- C ひこばえ枝は切る

ムクゲの剪定



▶ 剪定時期

- ・ 11～2月 (休眠期)、ただし5月まで可

▶ 切り方

- ・ 萌芽力が強いので強剪定は可
- ・ 枝数を減らし間引いて日照・通風を良くする
- ・ コンパクト化に努める

サツキ、ハギ 剪定例

▶ 玉つくり ➡ 例： サツキ

- 萌芽力が強いので刈り込みに適する
- 花後 ～ 7月までに剪定



▶ 株立ち ➡ 例： ハギ、 アジサイ、 ナンテン

- 休眠期の剪定
- 地際から2, 3芽残して切る
→ 立ちあがる本数を制限



フジの剪定



▶ 剪定時期

A 花後の花房取り、豆鞘(実)とり

- 花柄: 葉の部分を残し元から切る
- 豆鞘: 見つけ次第切る



B 11~2月 つる切り



豆鞘



・夏頃につるを切ると花芽にならない

フジは水場を好む

アジサイの剪定

▶ 剪定時期

- 花後 7月
(花がらは摘み取る)



▶ 切り方

- A • 1年枝の2～3節 残し、
芽の約2cm上で切る



- B • 株立ちの古枝を根本から切る
(間引く／強剪定)

バラの剪定

新芽の頂部に花芽を付ける



剪定時期

- A ・ 2月中旬に芽を確認して、
1.5mほどの樹高で切る
- B ・ 8月下旬に5枚葉の上で切る
- C ・ 芽の5mm上で切る

バラは肥料食い

マツの剪定

○育成サイクル(クロマツ)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育				芽吹			花芽			こも巻き		
				開花								
剪定				トリ	芽切り						も上げ	
				摘み								
施肥	寒肥											
病虫害					マウケイムシ		ハダニ					
					マウケムシ							

クロマツ



マツの種類

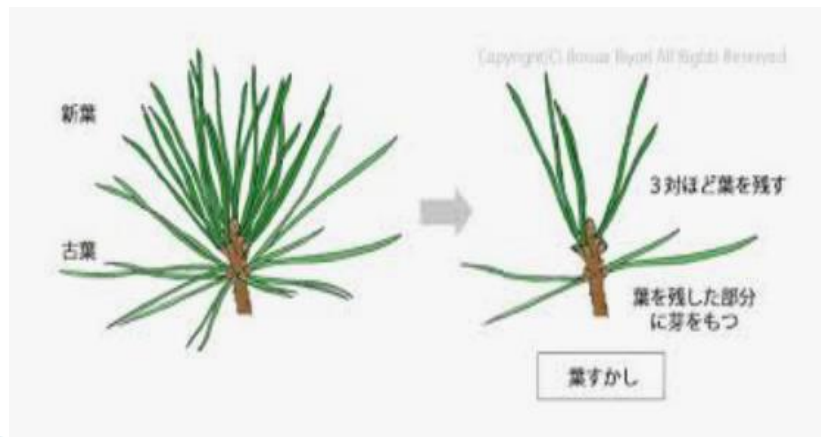
- ▶ アカマツ
- ▶ クロマツ
- ▶ ゴヨウマツ



マツの剪定

ミドリ摘み： 指で短いローソク芽2本(側芽)を1/3に折り、
他の主芽 は摘み取る

モミ上げ： 古葉抜き (葉すかし)



剪定カレンダー

○剪定カレンダー(標準)												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生垣			■	■								
花木					■	■						
仕上									■	■		
落葉樹			■								■	■
常緑樹			■	■	■	■			■	■		

実もの 種類

- 雌雄同株

ザクロ、カキ、コナラ、ムベ、アケビ

- 雌雄異株

イチヨウ、ウメモドキ、ロウヤガキ、マユミ、
クロガネモチ

- 両性花

ピラカンサ、クチナシ、カマツカ、キンズ

肥料

- 三要素：窒素N、リンP、カリウムK
- 五要素：上記の他、
 - ・カルシウムCa
 - ・マグネシウムMg

肥料の種類

- 無機質肥料 (化学肥料)

硫安、尿素、過リン酸石灰、硫酸カリウム、など

- 速効性 N : P : K 例) 14 : 14 : 14、 8 : 8 : 8
- 緩効性 ウレアホルム、I B、CDU、グアニル尿素、オキサミドの5種類

＜液体肥料＞：ハイポネックス、ハイポニカ など

- 有機性肥料

魚かす、油かす、発酵油かす、鶏糞、骨粉、草木灰

＜液体肥料＞：油かす液肥、
ぼかし液肥 (油かすや米ぬかなど有機肥料に、土やモミガラなどを混ぜて発酵)

有機質肥料

■堆肥・腐葉土

(ア) 腐葉土

(イ) バーク堆肥

(ウ) 牛糞堆肥

(エ) 鶏糞堆肥

無機質肥料（化学肥料）

■化学合成

チリ硝石・リン鉱石・炭化カルシウム石油などを合成

■天然もの

貝殻・貝化石・石灰石などを乾燥粉砕

■単肥として

(ア) 窒素肥料：硫安・尿素・石灰窒素

(イ) リン酸肥料：過リン酸石灰・熔成リン肥

(ウ) カリ肥料：硫酸カリ・塩化カリ

(エ) 石灰質肥料：苦土石灰

肥料の施し方 (元肥、追肥)

- つぼ肥法
- 輪肥法
- 表面施肥法
- 放射状施肥法

施肥時期

- 寒肥
- 追肥
- お礼肥

施肥カレンダー

施肥カレンダー												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花木	寒肥					追肥						寒肥
果樹	寒肥					追肥			追肥			寒肥
落葉樹	寒肥											寒肥
常緑樹・ 広葉樹			注						注			
常緑樹・ 針葉樹			注			注						
バラ	寒肥					追肥			追肥			
注：速効性化成肥料												

病害虫の予防 1

- ◎ 病害虫を持ち込まない
- ◎ 植物を健康に育てる
- ◎ 病害虫の発生源を除去する
 - (ア) 除草
 - (イ) 花ガラ、落葉、枯れ枝の除去
 - (ウ) 中間宿主になる植物を近くに植えない
 - (エ) 株元へ敷ワラなど敷く (マルチング)
 - (オ) アリの駆除

病害虫の予防 2

◎ 薬剤散布→ 平時に

- ：スミチオン
- ・オルトラン
- ・カルホス
- ・トップジンM

→ 冬季

- ・石灰硫黄剤
- ・マシン油乳剤

特に、カイガラムシにはマシン油乳剤が効果大

病虫害

◎ 伝染病

1. 土壤伝染
2. 種子伝染
3. 水媒伝染
4. 空気伝染
5. 接触伝染
6. 虫媒伝染

害虫による病気

- ウドンコ病
- タンソ病（炭疽病）
- スス病
- サビ病
- モチ病
- 黒星病
- 褐斑病／黒斑病
- ベト病
- 白絹病
- 根頭癌腫病／

ネコブセンチュウ

害虫

◎ 吸汁性害虫

➡ 葉や幹の液を吸う

◎ 食害性害虫

➡ 葉・花・実を食べる

◎ 食根性害虫

➡ 地下部を冒す

主な害虫

(ア) アブラムシ

(イ) イガラ

(ウ) カイガラムシ

(エ) カミキリムシ／マツノマダラカマキリ

(オ) コウモリガ、ボクトウガ

(カ) コガネムシ

(キ) ハダニ

(ク) ハマキムシ

(ケ) その他

- ・ ダンバイムシ
- ・ スリップス
- ・ チャドクガ
- ・ ウメケムシ
- ・ ヨウトウムシ

庭木の育て方(剪定/維持管理)

- 剪定時期 →
休眠期、新芽期、花芽期、樹形整え、休眠後（樹液の流れ）
- 剪定方法
 - (ア) 間引き/透かし：
枝数を減らし込み過ぎを修正→上部を強く、下部を弱く、
不要枝は分岐点から切る→**枝抜き**
 - (イ) 切り戻し：
目的の大きさに合わせて切る。
樹幹内部の外芽の上で切る（内芽の上で切ると内向枝に）
芯を立て直す場合や枝を切り詰めるときは芽のすぐ上で切る
 - (ウ) 刈り込み：
生垣や仕立て物の整枝。
上部は強く小さめに、下部へいくに従い次第に弱く刈り込む